

「全国財務局管内経済情勢報告概要」の主なポイント (令和3年4月判断)

財務省

令和3年4月28日


地域経済の概況（令和3年4月判断）

1. 各地域の経済情勢

- 各財務局管内の経済情勢を示す「総括判断」は、10地域で「据え置き」、1地域で「上方修正」（北陸）。
 - － 前回（令和3年1月）と比較すると、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、「一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある」や「持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている」などとしている。
- 各財務局の個別項目の判断
 - － 「個人消費」は、9地域で「据え置き」、2地域で「下方修正」。
 - － 「生産活動」は、7地域で「上方修正」、3地域で「据え置き」。（沖縄の「観光」は、「据え置き」）
 - － 「雇用情勢」は、2地域で「上方修正」、9地域で「据え置き」。

2. 全局総括判断

- 地域経済に関する各財務局の報告をとりまとめると、
 - － 「個人消費」は、持ち直しつつあるが、感染症の影響により、足下では、サービス消費等の一部に弱さがみられる。
 - － 「生産活動」は、自動車で足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直している。
 - － 「雇用情勢」は、一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
- これらを踏まえ、「全局総括判断」は、前回（令和3年1月）から判断を「据え置き」とした。（2期連続の「据え置き」）先行きについては、感染拡大による地域経済の下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。

	前回（令和3年1月判断）	今回（令和3年4月判断）	基調比較
全局 総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	 据え置き

（注1）令和3年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断。

（注2）下線部が基調判断。

各地域の「総括判断」の比較

	令和3年1月判断		令和3年4月判断	
全局	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	➡ (表現変更)	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	➡
北海道	新型コロナウイルス感染症の影響により <u>厳しい状況にあるなか、観光が弱まっており、持ち直しに向けたテンポが緩やかに</u> なっている	➡	新型コロナウイルス感染症の影響により <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかに</u> なっている	➡ (表現変更)
東北	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>	➡	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>	➡
関東	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかに</u> なっている	➡	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが</u> 続いている	➡ (表現変更)
北陸	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>	➡ (表現変更)	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、持ち直しつつある</u>	➡
東海	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、 <u>一部に厳しい状況があるものの、持ち直している</u>	➡ (表現変更)	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>一部に厳しい状況があるものの、持ち直している</u>	➡ (表現変更)
近畿	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	➡ (表現変更)	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	➡
中国	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きが</u> 続いている	➡ (表現変更)	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが</u> 続いている	➡ (表現変更)
四国	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	➡ (表現変更)	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	➡
九州	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかに</u> なっている	➡	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかに</u> なっている	➡
福岡	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>	➡ (表現変更)	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>	➡
沖縄	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかに</u> なっている	➡	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかに</u> なっている	➡

(注1) 下線部が基調判断。(注2) 矢印は、前回との基調比較。

「個別項目」の特徴的な動向

1. 個人消費 ※ 9地域で「据え置き」、2地域（近畿、四国）で「下方修正」

- 「スーパー販売」は、感染者数が増え始めた前年ほどの需要増加はみられないものの、飲食料品を中心に引き続き堅調。
- 「百貨店販売」は、持ち直しの動きがみられるものの、足下では感染拡大の影響により、客数が減少傾向にあるなど、厳しい状況が継続。
- 「コンビニエンスストア販売」は、オフィス街や行楽地周辺の店舗では来客数の回復が遅れているものの、住宅街や郊外の店舗は中食需要などで引き続き堅調となっており、緩やかに持ち直している。
- 「ドラッグストア販売」は、感染予防対策の衛生用品や飲食料品を中心に引き続き堅調。
- 「家電販売」は、巣ごもり需要の継続や新生活家電の需要増加により、テレビやパソコンなどを中心に引き続き堅調。
- 「新車販売」は、完成車メーカーの生産調整による納車の遅れなどで、持ち直しのテンポが緩やかになっている。
- 財務局のヒアリングによると、宿泊や飲食、運輸等のサービス消費は、前回（令和3年1月）から緩やかに持ち直しつつあったものの、足下では感染拡大の影響により、予約のキャンセルが発生するなど、依然として厳しい状況にあり、先行きには十分注意する必要がある。

2. 生産活動 ※ 7地域（北海道、東北、北陸、近畿、中国、四国、九州）で「上方修正」

- 「自動車」は、国内外の需要は底堅いものの、一部で半導体部品の不足による減産がみられており、足踏みの状況にある。
- 「生産用機械」は、半導体製造装置が引き続き堅調であるほか、工作機械で改善がみられるなど、持ち直している。
- 「電子部品・デバイス」は、情報通信機器や車載向けを中心に、増加している。

3. 雇用情勢 ※ 2地域（北陸、近畿）で「上方修正」、9地域で「据え置き」

- 有効求人倍率が横ばいの状況にあるなど、一部に底堅さがみられるものの、宿泊・飲食サービス業等を中心に弱い動きとなっている。
- 財務局のヒアリングによれば、一部のサービス業等では引き続き雇用調整助成金等を活用して雇用維持に努める企業がみられるほか、製造業等では需要回復に伴い求人を再開する企業もみられる。しかしながら、今後の感染拡大の影響によっては、サービス業等を中心に雇用調整を進める企業が増加する可能性もあるなど、先行きには十分注意する必要がある。

各地域の「個別項目」の比較

個人消費

生産活動 ※沖縄は「観光」

雇用情勢

	前回 (令和3年1月判断)	今回 (令和3年4月判断)		前回 (令和3年1月判断)	今回 (令和3年4月判断)		前回 (令和3年1月判断)	今回 (令和3年4月判断)	
北海道	新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きがみられる	➡	一進一退の状況にある	緩やかに持ち直しつつある	↗	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	➡
東北	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	持ち直している	↗	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	➡
関東	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている	➡ <small>(表現変更)</small>	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡ <small>(表現変更)</small>	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	➡ <small>(表現変更)</small>
北陸	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡	緩やかに持ち直しつつある	持ち直している	↗	一部に底堅さがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	↗
東海	感染拡大の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる	感染症の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる	➡ <small>(表現変更)</small>	緩やかに回復している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復している	➡ <small>(表現変更)</small>	一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている	一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている	➡
近畿	新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しつつあるものの、足下では新型コロナウイルス感染症の急拡大の影響により減少している	↘	持ち直しつつある	持ち直している	↗	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、下げ止まりつつある	↗
中国	新型コロナウイルス感染症の影響により、足下では一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	➡ <small>(表現変更)</small>	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる	持ち直している	↗	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	一部に底堅さがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	➡ <small>(表現変更)</small>
四国	感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	感染拡大の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている	↘	下げ止まっている	緩やかに持ち直しつつある	↗	感染症の影響により、弱い動きとなっている	感染症の影響により、弱い動きとなっている	➡
九州	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	➡	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある	↗	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に底堅さがみられるものの、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に底堅さがみられるものの、弱い動きとなっている	➡
福岡	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	➡	持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直している	➡ <small>(表現変更)</small>	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	一部に底堅さがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	➡ <small>(表現変更)</small>
沖縄	感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる	持ち直しつつある	➡ <small>(表現変更)</small>	感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、足下では急速に弱まっている	厳しい状況にあるなか、一部に持ち直しの動きがみられるものの、感染再拡大の影響により、弱まっている	➡ <small>(表現変更)</small>	感染症の影響により、下げ止まりの動きがみられるものの、弱い動きとなっている	感染症の影響により、弱い動きが続いている	➡ <small>(表現変更)</small>

企業等の主な声

個人消費

< 財消費 >

- 昨年の特需の反動で前年比はマイナスだが、感染拡大前と比較すれば水準は高くなっており、足下においても、客足や販売が落ちている感じはなく、飲食料品を中心に売上は好調を維持している。【スーパー・大・近畿】
- 3月以降、自粛に対する反動等の影響もあってか目に見えて週末の来店客数は増加し、売上にも持ち直しの動きがみられていた。こうしたなか、足下では第4波の影響から来店客数が減少しており、先行きが再び懸念される状況となっている。【百貨店・大・近畿】
- 3月はやや人の流れが増えたが、新しい生活様式の定着で住宅街の店舗は好調、繁華街や観光地は厳しいという傾向に変化はない。【コンビニ・中堅・北海道】
- 感染者数増加に伴う外出自粛の影響から、旅行・外食への消費が家電にシフトしており客数・実績は好調。また、新生活需要は例年より好調で、特にパソコンを中心に新生活用家電が例年を上回る売上で推移している。【家電量販店・大・近畿】
- 感染症の影響で展示会などのイベント規模は縮小しているため、来客数自体は幾分か減少しているものの、新型車を中心に需要は堅調。しかし、人気車種への需要集中により、生産が追い付かず納期の遅れが発生している。【自動車販売・中堅・九州】

< サービス消費 >

- 3月から観光客が少しずつ戻ってきており、GW中の宿泊予約は前々年同月比で約70~80%と好調。ただし、足下ではまん延防止等重点措置の対象に東京や沖縄が追加されたことで、キャンセルが発生しはじめており、雲行きがとも怪しい。【旅行代理店・中堅・沖縄】
- レストランやシネマを併設した複合商業施設では、3月はコロナ前に近い水準まで売上が戻ってきたが、最近では第4波や変異種の報道が増えていることもあり、期待したほどの伸びがみられない。【不動産・大・北海道】
- 感染者数の増加もあり、外食を避ける動きがあるため、4月に入ってからでは週を追うごとに状況が悪くなっている。まん延防止等重点措置を受けて時短営業となると、ますます厳しくなる。【飲食サービス・中堅・東海】

生産活動





- 1月に入り、半導体の世界的な供給不足の影響が出始め、2月も米国の寒波により樹脂製品が供給不足となったことから、大きく減産した。足下でも半導体不足の影響により、生産ラインの一部を停止するなど影響が出ている。【自動車・大・関東】
- 4月以降も稼働率の高い状況が続く計画となっているものの、供給がひっ迫している半導体部品の不足が懸念される。【自動車・大・福岡】
- 半導体不足に伴う完成車工場の生産調整により受注がキャンセルとなり、工場の稼働率も低下している。【自動車・中小・東北】
- 5Gの普及やテレワークなどのライフスタイルの変化に伴う半導体需要の増加により、海外からの半導体製造装置の受注が好調。ここ数か月はフル生産となっているなど、需要に生産が追い付かない状態が続いている。【生産用機械・大・関東】
- 調整局面にあった工作機械の需要が昨年秋口に底を打って以降、自動車向けをはじめ、5Gスマホ、半導体、建設機械など、海外を中心に受注は好調である。【生産用機械・大・関東】
- 感染症の影響で落ち込んでいた車載向け半導体関連の受注が回復するなど、工場全体でフル稼働となっている。【電子部品/デバイス・中堅・九州】
- 自動車向けに加え、家電、建築向けなどの需要も持ち直してきており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の生産水準に戻りつつある。【鉄鋼・大・中国】

雇用情勢






- 緊急事態宣言の再発令で宿泊・飲食業の求人が再び減少したが、自動車産業を中心に戻っており、求人全体への影響は限定的であった。【公的機関・東海】
- 感染症の影響でイベント等が自粛となり、受注が減少している。人手が過剰となっているため、雇用調整助成金を活用している。【印刷・中小・四国】
- 沖縄観光が復活した時のことを考えて、雇用調整助成金などを活用してなるべく雇用は維持したい。【娯楽・中小・沖縄】
- 足下では受注が持ち直してきたこともあり、人員の不足感がある一方、今後の先行き不透明感を理由に新卒採用は見送った。【繊維・大・北陸】

注)各財務局は企業等へのヒアリングを主に3月中旬から4月中旬にかけて実施。

各地域の「総括判断」①

	前回 (令和3年1月判断)	今回 (令和3年4月判断)	基調 比較	総括判断の要点
北海道	新型コロナウイルス感染症の影響により <u>厳しい状況にあるなか、観光が弱まっており、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	 (表現変更)	個人消費は、感染症による自粛の影響がみられるものの、スーパー販売や家電販売が堅調に推移するなど、総じてみれば持ち直しの動きが続いている。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。観光は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱まっている。
東北	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、電子部品・デバイスが自動車向けなどで好調となっているほか、生産用機械が海外の設備投資需要を背景に高水準となっているなど、持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。
関東	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている</u>	 (表現変更)	個人消費は、宿泊や飲食サービスが弱含んでいるものの、スーパー販売額が前年を上回っているなど、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。生産活動は、輸送機械が減少しているものの、生産用機械、汎用機械が増加しているなど、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、下げ止まりの兆しがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
北陸	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、持ち直しつつある</u>		個人消費は、ドラッグストア販売、ホームセンター販売が順調となっており、家電大型専門店販売は緩やかに回復している。また、百貨店・スーパー販売が緩やかに持ち直しつつあるなど、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、電子部品・デバイスが緩やかに回復しているほか、生産用機械が持ち直していることなどから、全体では持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
東海	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、 <u>一部に厳しい状況があるものの、持ち直している</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>一部に厳しい状況があるものの、持ち直している</u>	 (表現変更)	個人消費は感染症の影響により、サービス消費を中心に持ち直しの動きに一服感がみられる。生産活動は一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復している。こうしたなか、雇用情勢は弱い動きが続いている。
近畿	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>		個人消費は、持ち直しつつあるものの、足下では感染症の急拡大の影響により減少している。生産活動は、生産用機械や電子部品・デバイス等が上昇しているなど持ち直している。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、下げ止まりつつある。

各地域の「総括判断」②

	前回 (令和3年1月判断)	今回 (令和3年4月判断)	基調 比較	総括判断の要点
中国	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きが続いている</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている</u>	 (表現変更)	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、家電販売やホームセンター販売が好調であるなど、緩やかに持ち直している。生産活動は、化学や鉄鋼が増加しているなど、持ち直している。雇用情勢は、一部に底堅さがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。
四国	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>		個人消費は、スーパーが堅調であるほか、家電大型専門店等が順調となっているものの、観光等が低調であることから、全体としては感染拡大の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は、食料品が横ばいの状況にあるものの、電気機械で持ち直しつつあり、汎用・生産用機械で緩やかに持ち直しつつあることから、全体としては緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
九州	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>		個人消費は、持ち直しに向けた動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊者数など観光面が依然として厳しい状況にあるなど、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、好調な電子部品・デバイスを中心に、持ち直しつつある。雇用情勢は、有効求人倍率に下げ止まりの兆しがみられるなど、一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きとなっている。
福岡	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>		個人消費は、百貨店販売で新型コロナウイルス感染症の影響により来店客数が減少したことから前年を下回っているなど、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、自動車向けを中心に緩やかに持ち直している。雇用情勢は、一部に底堅さがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。
沖縄	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>		個人消費は、百貨店・スーパーの販売額は前年を下回っているものの、引き続き食料品は堅調に推移し、新車・中古車販売台数や家電販売額は前年を上回るなど、持ち直しつつある。観光は、入域観光客数が大幅に減少するなど厳しい状況にあるなか、一部に持ち直しの動きがみられるものの、感染再拡大の影響により、弱まっている。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きが続いている。

各地域の「先行き」

今回（令和3年4月）

北海道	先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染拡大による地域経済の下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。
東北	先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。
関東	先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染拡大等が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。
北陸	先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。
東海	先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、引き続き持ち直していくことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりなどに十分注意する必要がある。
近畿	先行きについては、感染拡大の防止策や各種政策の効果、海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、今般の緊急事態宣言発出に伴う経済活動への影響をはじめ、国内外における今後の感染症の動向、金融資本市場の変動の影響等を注視する必要がある。
中国	先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。
四国	先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、感染拡大による社会経済活動への影響が地域経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。
九州	先行きについては、新型コロナウイルス感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。
福岡	先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。
沖縄	先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果等もあって、持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染拡大による地域経済の下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。

問い合わせ先

財務省大臣官房総合政策課

東京都千代田区霞が関3丁目1番1号

Tel. 03-3581-4111 (内線) 2252, 2225

財務省ホームページ <https://www.mof.go.jp/>